



園小中一貫教育～公開保育～

こども園では7月24日山の上分園、7月29日にちなん十色、8月22日石見分園の公開保育を実施し、教育委員会、小中学校の先生に保育参観に来ていただいています。参観後は、関係者で幼児教育について話し合いを行っています。また、小中学校の研究授業に参加し、学校教育の取り組みを学ばせてもらっています。

園での教育と学校教育では違いはありますが、違いを理解しながらも子ども達の成長に必要なことを共通理解していくために話し合い、交流を深めています。

一貫教育の中で、園児や児童、生徒が交流する取り組みも重要な取り組みですが、教職員が研修で理解を深めることも大切にしています。日南町の子ども達を、教育関係者みんなで見守っています。

各園 保護者懇談会のお知らせ

各園保護者会の皆様に、プール設置をお世話になりありがとうございました。暑さ指数により、プールに入る時間は短時間ではありますが、毎日楽しんでおります。改めてお礼申し上げます。

また8月末にはプール片付け等の奉仕作業をよろしく願いいたします。各園奉仕作業の日に、保護者懇談を計画しております。都合をつけてご参加いただきますようお願い申し上げます。

- | | | | | |
|---------|----------|---------|--------------|--------|
| ○石見分園 | 8月29日(金) | 第2回役員会後 | 「分園の在り方について」 | 保護者懇談会 |
| ○山の上分園 | 8月30日(土) | 第2回役員会後 | 「分園の在り方について」 | 保護者懇談会 |
| ○にちなん十色 | 9月5日(金) | 奉仕作業後 | 保護者懇談予定 | |

未来を創る

「自分の決めつけを振り返ってみましょう」の巻

先日『認知症サポーター養成講座を受講しました。我が家は両親と共に暮らしており、今後の心の準備にと考え受講しましたが、すぐさま他人事ではないことを知りました。それは、自分よりはるかに若くして認知症診断を受け、現在も仕事を続けながら、過ごされている方の話を伺ったからです。きっと、現状を受け入れられない時期と向き合うことで、今現在の前向きな姿につながっていると思いますが、語られる言葉の中に大きな学びがありました。

それは、「自分たちはサポーターではなく、パートナーを必要としています。」という言葉です。違いを調べてみると、

サポーターとは必ずしも対等な関係ではなく、応援する側としての関係性が強い

パートナーとは、対等な関係で協力する人、共通な目標に向かって共に活動する関係性とありました。

また認知症の方からのメッセージとして、「大丈夫？って言わないで」「頑張って言わないで」「見張らないで、見守ってください」「できることを私から奪わないでください」…といったことが語られました。

その話を聞きながら、目の前の子どもたちの姿が浮かんできました。自分は「まだ小さいから…」「守ってあげなければ…」といった思いの強さから、子どもたちに対して、一人の人間として対等に接していないこともあったのではと。どんな研修会からも、どんな場面からも学びがあることに気づかせていただき、これをきっかけに自分の中の決めつけを振り返ってみたいと思いました。